

株式会社シンワ

埼玉県狭山市

需要獲得
ものづくり

高精度な金属切削加工を武器に既成概念を超えたアイデアで自社アウトドアブランドも展開

1974年創業で5軸加工機などの工作機械を駆使した、高精度な金属切削加工が主事業。景気に左右されやすい下請け企業から能動的に売上を作るために、メーカーへの脱皮を目指し、2016年に新規事業としてアウトドアブランド(muraco)を立ちあげた。自社の金属加工技術×既成概念を超えたアイデアでブランド展開する。東京立川市に直営店出店も予定し、今後もアウトドアの枠組みを超えたブランドを目標に成長を続けている。

所在地 埼玉県狭山市根岸649-7
電話/FAX 04-2955-0200 / 04-2955-0201
URL <https://muracodesigns.com/>
代表者 代表取締役社長 村上 卓也

設立 1974年
資本金 1,000万円
従業員数 23人



金属加工×デザインの融合

muracoブランドのプロダクトの特徴は金属切削加工を活用したアウトドア製品の開発である。創業以来約半世紀の間で培われた、金属を主とした素材活用への造詣と、ミニマルでソリッドなデザインを強みとしているが、最も重要視しているのは、ユーザビリティである。携帯性と安定性を兼ね備えた、焚火台は高度な切削加工技術による独自構造により、容易かつ素早い設営が可能になると好評。設計、製造、品質管理、グラフィックデザインなどほぼ全ての業務を内製化することで、高い熱量の事業運営を目指している。



金属加工×デザインの融合

既存のアウトドアブランドとは一線を画したブランドイメージの確立

同業他社との差別化した製品開発ではなく、これまで受け皿のなかったユーザーへの共感を呼び込むブランディングや製品設計により、価格競争に陥らず、売上増加を果たした。例えば”ブラック”をメインカラーとする商品展開は、日常生活の延長線上におけるアウトドア空間においても自己のスタイルを貫くユーザーにとって共感を生んでいる。また、単に商品ラインナップに限らず、ブランドストーリーや売り方・売られ方、ユーザーとのコミュニケーションなどのディテールにこだわり、コアバリューの確立につなげる。



既存のアウトドアブランドとは一線を画す

新規事業のアウトドア事業によりコロナ禍においても売上を伸長

新型コロナウイルスの拡大により、4月から9月にかけて特に製造部門において影響が大きく、売上も減少したが、アウトドア部門は売上を伸長しており当社の経営維持に大きく貢献した。これは、コロナ禍においてソーシャルディスタンスを確保しやすいアウトドアが好まれ、また、SNSによる情報の発信や屋外において自社製品の展示会イベントを開催する等、外部に積極的に情報を発信したことも売り上げ増加に大きく寄与した。今後もこのような情勢が続くことが予想され、アウトドア部門のさらなる飛躍が見込まれる。



ブランドロゴと製品

需要獲得

ものづくり